

## 薬剤師におけるACP導入課題

# 家族への服薬指導も重要

豊平区の西岡・福住地区を拠点に多職種協働で包括的・継続的な在宅医療の提供を目指す協議会「とよひら・りんく」(会

長・五十嵐知文西岡病院副院長)は、「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)の導入と実践へ向けて、第2回「りんく塾」を開催した。

2011年の発足時か

ら参加し、個人宅と介護施設で訪問薬剤指導を行っている西岡メディカル

薬局の上田直人管理薬剤師Ⅱ写真Ⅱが「調剤薬局薬剤師におけるACP導



入の課題」をテーマに講演。

これまでの訪問事例から、調剤薬局薬剤師におけるACP導入の課題を提示。情報共有については、職種によって視点が違うため、「報告様式の簡素化とフォーマットの統一」と「情報のフィードバックと共有方法」を工夫することが必要と説いた。

地域連携における調剤薬局薬剤師の役割、▼訪問薬剤管理指導▼服薬指導▼残薬管理一を通じて存在をアピールし、ケアマネジャーや多職種との連携を深めることが必要と強調。「患者や家族の本音に迫るコミュニケーションを。家族や周りで支える人にも一緒に服薬指導を行うことが大切」と訴えた。